

国立病院機構九州医療センター

血液内科レジデント 中尾 文彦

生年月日：昭和 62 年 10 月 31 日

「JALSG Young Investigator ASH Travel Award 2016 に参加させて頂いて」

この度は、JALSG Young Investigator ASH Travel Award 2016 に採択いただき、誠にありがとうございました。今回の ASH は私にとって、初めての海外学会でした。何よりも衝撃的だったのは、学会規模の大きさです。会場の広さはもちろん、演題数、参加者数ともに私の想像をはるかに超えるものでした。世界各国から参加者が訪れていたのも印象的でした。学会外では、サンディエゴの晴天のもと、海岸線を散策して楽しみました。JALSG の先生方との懇親会で豪快に網焼きのステーキを頂いたのも良い思い出です。

さて、学会内容についてですが、新規薬剤・治療が次々と実臨床に組み入れられ、従来の治療概念を大きく変えつつある現状を肌で感じました。再発・難治のホジキンリンパ腫や慢性リンパ性白血病において、同種造血幹細胞や BiTE に免疫チェックポイント阻害剤を組み合わせる治療成績が向上したという報告や、化学療法不応の急性リンパ性白血病において、CAR-T 療法で高い寛解率を得られたという報告を聞き、新規の免疫療法が今後治療の重要な柱の一つになってくるという実感を得ました。また、再発・難治のマントル細胞リンパ腫に対して、イブルチニブ、リツキシマブ、レナリドミドの三剤のみで良好な治療成績を得られたという報告があり、今後化学療法を行わずにリンパ腫治療が行える時代がくるのではないかと想像し、興奮しながら聞いていました。

最後になりますが、このような貴重な機会を与えてくださった JALSG 及び関係者の皆様に改めて御礼申し上げます。今後の臨床・研究活動において、今回学んだことを存分に活かして取り組んでいきたいと考えております。